

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月16日
【発行者名】	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 鈴木 郁也
【本店の所在の場所】	東京都港区芝3丁目33番1号
【事務連絡者氏名】	ファンド・レポートイング部長 橋詰 廣志
【電話番号】	03-6737-0521
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券に係るファンドの名称】	高金利ソブリンオープン
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券の金額】	上限 10兆円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出したこと等に伴い、平成25年2月19日に提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の内容に訂正すべき事項が生じたので、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

原届出書の「第二部 ファンド情報」「第1 ファンドの状況」「1 ファンドの性格」につきましては、該当情報を以下の内容に更新・訂正します。

(1) ファンドの目的及び基本的性格

ファンドの特色の「投資対象国の国債の格付」及び「投資対象国の国債の利回り（残存期間約10年の国債）」を以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>

投資対象国の国債の格付

(2013年6月末現在)

国名	Moody's	S&P
イギリス	Aa1	AAA
オーストラリア	Aaa	AAA
オランダ	Aaa	AAA
カナダ	Aaa	AAA
シンガポール	Aaa	AAA
スイス	Aaa	AAA
スウェーデン	Aaa	AAA
デンマーク	Aaa	AAA
ドイツ	Aaa	AAA
ノルウェー	Aaa	AAA
フィンランド	Aaa	AAA
アメリカ	Aaa	AA+
オーストリア	Aaa	AA+
フランス	Aa1	AA+
ベルギー	Aa3	AA
ポーランド	A2	A
マレーシア	A3	A
メキシコ	Baa1	A-
南アフリカ	Baa1	A-
ご参考)日本	Aa3	AA-

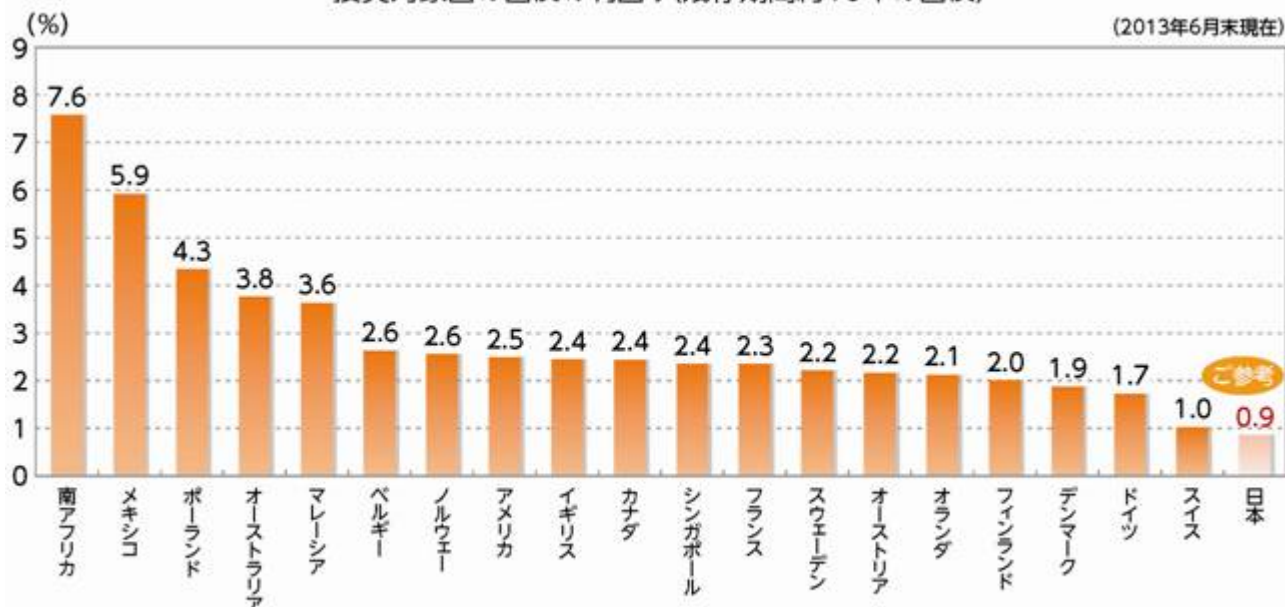
(出所) Moody's、S&Pのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記の格付は、自国通貨建長期債務格付です。

上記の格付は今後変更されることがあります。

実際の投資に当たっては、上記の国全てに投資するわけではありません。

投資対象国の国債の利回り(残存期間約10年の国債)



※実際に投資する債券の利回り水準は、残存期間等によって異なります。
 実際の投資に当たっては、上記の国全てに投資するわけではありません。
 (出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

(3) ファンドの仕組み

該当情報を以下の内容に訂正します。

(注) 下線部 は訂正部分を示します。

< 訂正前 >

(前略)

委託会社の概況

A. 資本金の額：3億円 (平成24年12月28日現在)

(中略)

C. 大株主の状況 (平成24年12月28日現在)

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

委託会社の概況

A. 資本金の額：3億円 (平成25年6月28日現在)

(中略)

C. 大株主の状況 (平成25年6月28日現在)

(後略)

[次へ](#)

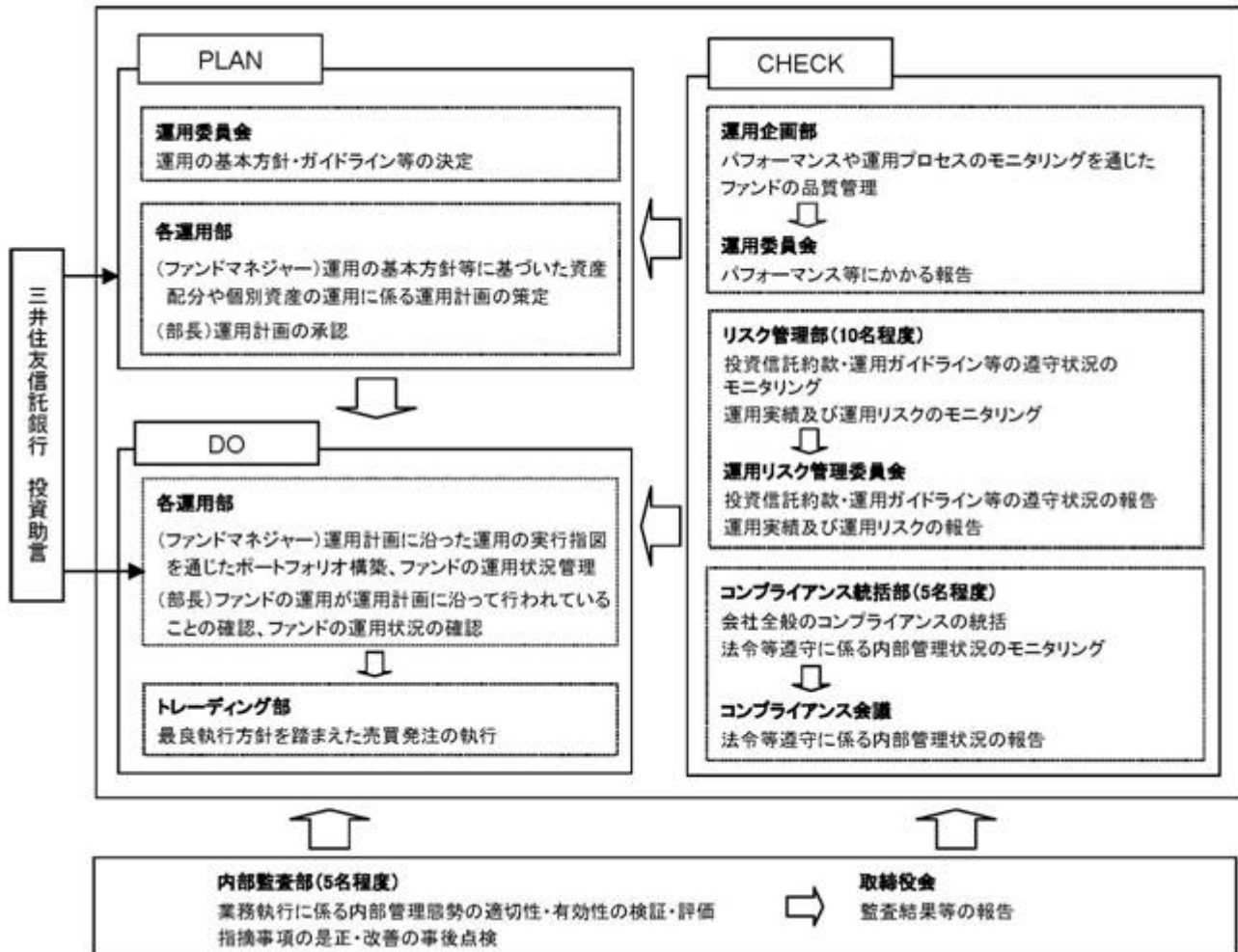
2 投資方針

原届出書の「第二部 ファンド情報」「第1 ファンドの状況」「2 投資方針」につきましては、該当情報を以下の内容に更新・訂正します。

(3) 運用体制

<更新・訂正後>

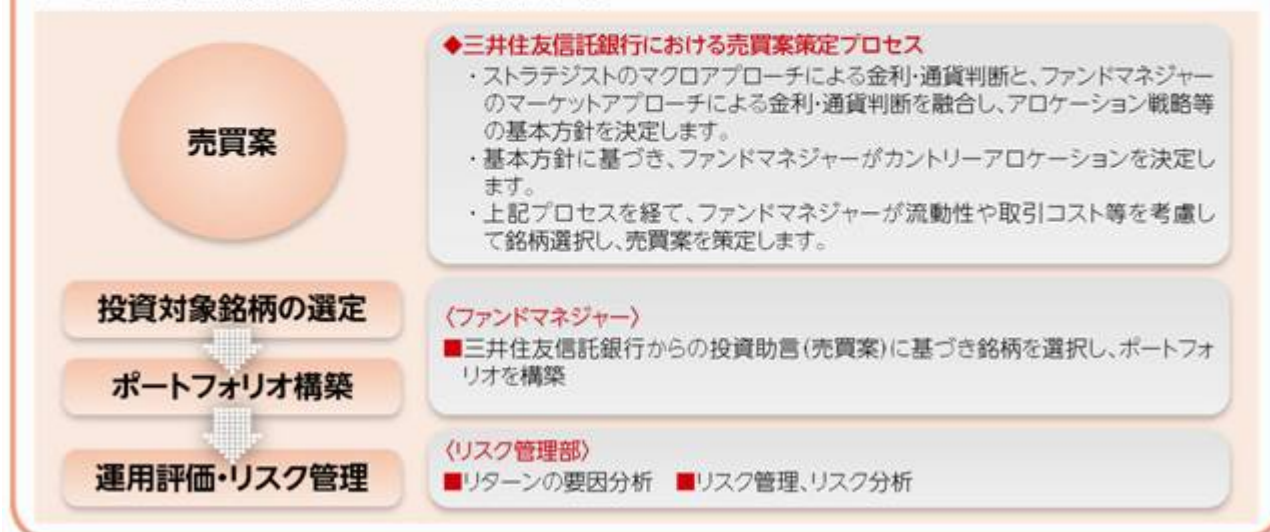
ファンドの運用体制は以下の通りです。記載された体制、委員会等の名称、人員等は、平成25年8月16日現在のものであり、今後変更されることがあります。



マザーファンドのポートフォリオ構築プロセス

委託会社は、三井住友信託銀行からの投資助言(売買案)に基づいて銘柄を選択し、ポートフォリオを構築します。また、運用評価・リスク管理については、リスク管理部が行います。

投資助言者である三井住友信託銀行は、アロケーション戦略等の基本方針決定、カンントリーアロケーション決定等のプロセスを経て銘柄選択し、売買案の策定を行います。



委託会社では社内規定を定めて運用に係る組織及びその権限と責任を明示するとともに、運用を行うに当たって遵守すべき基本的な事項を含め、運用とリスク管理を適正に行うことを目的とした運用等に係る業務規則を定めています。

委託会社は、受託会社又は再信託受託会社に対して、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、外部監査法人による内部統制の整備及び運用状況の報告書を再信託受託会社より受け取っております。

[次へ](#)

4 手数料等及び税金

原届出書の「第二部 ファンド情報」「第1 ファンドの状況」「4 手数料等及び税金」につきましては、該当情報を以下の内容に訂正します。

（注）下線部___は訂正部分を示します。

（5）課税上の取扱い

<訂正前>

（前略）

普通分配金と元本払戻金（特別分配金）について

（中略）

□．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

上記は、平成25年1月1日現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更される場合があります。

税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

<訂正後>

（前略）

普通分配金と元本払戻金（特別分配金）について

（中略）

□．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。（平成26年1月1日以降）

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、平成26年1月1日以降の非課税制度です。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

上記は、平成25年6月28日現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更される場合があります。

税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

[次へ](#)

5 運用状況

原届出書の「第二部 ファンド情報」「第1 ファンドの状況」「5 運用状況」につきましては、以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>

以下の記載は、平成25年6月28日現在の状況について記載してあります。

(1)投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	48,293,415,952	100.08
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		39,953,066	0.08
合計(純資産総額)		48,253,462,886	100.00

(注1)国/地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、本ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2)投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a. 投資有価証券の主要銘柄

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額(円)		評価額(円)		投資比率(%)
				単価	金額	単価	金額	
日本	親投資信託受益証券	高金利外債マザーファンド	33,077,682,159	1.4786	48,908,660,841	1.4600	48,293,415,952	100.08

(注1)国/地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率は、本ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

b. 投資有価証券の種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.08
合計	100.08

(注)投資比率は、本ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

c. 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3)運用実績

純資産の推移

	純資産総額(円)		1万口当たりの純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1特定期間末 (平成17年 5月17日)	17,520,635,690	17,599,380,222	10,012	10,057
第2特定期間末 (平成17年11月17日)	44,738,156,732	45,985,591,572	10,580	10,875

第3特定期間末 (平成18年 5月17日)	69,526,083,455	69,839,814,950	9,972	10,017
第4特定期間末 (平成18年11月17日)	102,383,991,766	104,772,480,507	10,502	10,747
第5特定期間末 (平成19年 5月17日)	136,993,401,730	142,123,002,752	10,549	10,944
第6特定期間末 (平成19年11月19日)	170,694,893,472	171,446,754,515	10,216	10,261
第7特定期間末 (平成20年 5月19日)	188,768,691,794	189,626,826,679	9,899	9,944
第8特定期間末 (平成20年11月17日)	145,601,597,205	146,565,908,308	6,795	6,840
第9特定期間末 (平成21年 5月18日)	157,167,867,302	158,149,381,069	7,206	7,251
第10特定期間末 (平成21年11月17日)	167,421,651,263	168,384,498,828	7,825	7,870
第11特定期間末 (平成22年 5月17日)	143,330,003,366	144,210,156,282	7,328	7,373
第12特定期間末 (平成22年11月17日)	120,685,055,913	121,478,951,913	6,841	6,886
第13特定期間末 (平成23年 5月17日)	105,204,542,934	105,881,652,722	6,992	7,037
第14特定期間末 (平成23年11月17日)	84,305,887,652	84,890,953,880	6,484	6,529
第15特定期間末 (平成24年 5月17日)	70,008,763,404	70,487,270,797	6,584	6,629
第16特定期間末 (平成24年11月19日)	56,488,117,393	56,738,195,663	6,776	6,806
第17特定期間末 (平成25年 5月17日)	55,494,463,652	55,701,033,128	8,059	8,089
平成24年 6月末日	67,124,216,033		6,476	
7月末日	64,504,363,867		6,547	
8月末日	60,631,897,458		6,584	
9月末日	58,123,361,599		6,592	
10月末日	56,634,661,012		6,663	
11月末日	56,492,840,386		6,877	
12月末日	57,405,131,455		7,216	
平成25年 1月末日	58,093,837,185		7,522	
2月末日	56,178,553,609		7,484	
3月末日	55,019,117,329		7,593	
4月末日	55,771,444,454		7,947	
5月末日	53,064,596,692		7,838	
6月末日	48,253,462,886		7,243	

分配の推移

期 間	1万口当たりの分配金(円)
第1特定期間(平成16年12月 3日～平成17年 5月17日)	135
第2特定期間(平成17年 5月18日～平成17年11月17日)	520
第3特定期間(平成17年11月18日～平成18年 5月17日)	270
第4特定期間(平成18年 5月18日～平成18年11月17日)	470
第5特定期間(平成18年11月18日～平成19年 5月17日)	620
第6特定期間(平成19年 5月18日～平成19年11月19日)	270

第7特定期間(平成19年11月20日～平成20年 5月19日)	270
第8特定期間(平成20年 5月20日～平成20年11月17日)	270
第9特定期間(平成20年11月18日～平成21年 5月18日)	270
第10特定期間(平成21年 5月19日～平成21年11月17日)	270
第11特定期間(平成21年11月18日～平成22年 5月17日)	270
第12特定期間(平成22年 5月18日～平成22年11月17日)	270
第13特定期間(平成22年11月18日～平成23年 5月17日)	270
第14特定期間(平成23年 5月18日～平成23年11月17日)	270
第15特定期間(平成23年11月18日～平成24年 5月17日)	270
第16特定期間(平成24年 5月18日～平成24年11月19日)	195
第17特定期間(平成24年11月20日～平成25年 5月17日)	180

収益率の推移

期 間	収益率(%)
第1特定期間(平成16年12月 3日～平成17年 5月17日)	1.5
第2特定期間(平成17年 5月18日～平成17年11月17日)	10.9
第3特定期間(平成17年11月18日～平成18年 5月17日)	3.2
第4特定期間(平成18年 5月18日～平成18年11月17日)	10.0
第5特定期間(平成18年11月18日～平成19年 5月17日)	6.4
第6特定期間(平成19年 5月18日～平成19年11月19日)	0.6
第7特定期間(平成19年11月20日～平成20年 5月19日)	0.5
第8特定期間(平成20年 5月20日～平成20年11月17日)	28.6
第9特定期間(平成20年11月18日～平成21年 5月18日)	10.0
第10特定期間(平成21年 5月19日～平成21年11月17日)	12.3
第11特定期間(平成21年11月18日～平成22年 5月17日)	2.9
第12特定期間(平成22年 5月18日～平成22年11月17日)	3.0
第13特定期間(平成22年11月18日～平成23年 5月17日)	6.2
第14特定期間(平成23年 5月18日～平成23年11月17日)	3.4
第15特定期間(平成23年11月18日～平成24年 5月17日)	5.7
第16特定期間(平成24年 5月18日～平成24年11月19日)	5.9
第17特定期間(平成24年11月20日～平成25年 5月17日)	21.6

(注1)収益率とは、各特定期間末の基準価額(分配落)から前特定期間末の基準価額(分配落)を控除した額に特定期間中の分配金累計額を加算し、前特定期間末の基準価額(分配落)で除して得た数に100を乗じて得た数字です。

(注2)小数第2位を四捨五入しております。

(4)設定及び解約の実績

期 間	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済み口数(口)
第1特定期間 (平成16年12月 3日～平成17年 5月17日)	17,606,130,436	107,345,425	17,498,785,011
第2特定期間 (平成17年 5月18日～平成17年11月17日)	26,694,449,294	1,907,307,506	42,285,926,799
第3特定期間 (平成17年11月18日～平成18年 5月17日)	31,459,814,530	4,027,631,310	69,718,110,019
第4特定期間 (平成18年 5月18日～平成18年11月17日)	33,450,868,278	5,679,641,900	97,489,336,397
第5特定期間 (平成18年11月18日～平成19年 5月17日)	38,383,446,445	6,009,465,820	129,863,317,022
第6特定期間 (平成19年 5月18日～平成19年11月19日)	42,464,596,962	5,247,682,142	167,080,231,842

第7特定期間 (平成19年11月20日～平成20年 5月19日)	29,199,611,712	5,583,202,262	190,696,641,292
第8特定期間 (平成20年 5月20日～平成20年11月17日)	34,011,046,345	10,416,331,364	214,291,356,273
第9特定期間 (平成20年11月18日～平成21年 5月18日)	11,992,560,543	8,169,746,169	218,114,170,647
第10特定期間 (平成21年 5月19日～平成21年11月17日)	8,944,490,219	13,092,535,166	213,966,125,700
第11特定期間 (平成21年11月18日～平成22年 5月17日)	6,550,417,779	24,927,006,397	195,589,537,082
第12特定期間 (平成22年 5月18日～平成22年11月17日)	3,425,236,021	22,593,439,551	176,421,333,552
第13特定期間 (平成22年11月18日～平成23年 5月17日)	1,680,846,184	27,633,337,805	150,468,841,931
第14特定期間 (平成23年 5月18日～平成23年11月17日)	1,367,720,133	21,821,844,581	130,014,717,483
第15特定期間 (平成23年11月18日～平成24年 5月17日)	1,111,231,459	24,790,972,595	106,334,976,347
第16特定期間 (平成24年 5月18日～平成24年11月19日)	717,059,830	23,692,612,709	83,359,423,468
第17特定期間 (平成24年11月20日～平成25年 5月17日)	497,898,442	15,000,829,619	68,856,492,291

(注)当該特定期間中において、本邦外における設定または解約の実績はありません。

(参考情報)

高金利外債マザーファンド

(1)投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	カナダ	21,501,538,512	29.50
	ノルウェー	21,466,782,109	29.45
	小計	42,968,320,621	58.95
特殊債券	オーストラリア	28,151,655,211	38.62
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		1,775,545,996	2.44
合計(純資産総額)		72,895,521,828	100.00

(注1)国/地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2)投資比率とは、マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2)投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a. 投資有価証券の主要銘柄

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額(円)		評価額(円)		利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
				単価	金額	単価	金額			
オーストラリア	特殊債券	WATC 8% 07/15/17	116,000,000	10,962.64	12,716,670,752	10,655.11	12,359,935,952	8.00	2017/07/15	16.96
ノルウェー	国債証券	NGB 5% 05/15/15	681,000,000	1,772.33	12,069,632,007	1,741.03	11,856,477,496	5.00	2015/05/15	16.27
カナダ	国債証券	CAN 9% 06/01/25	75,000,000	16,839.07	12,629,303,400	15,648.29	11,736,220,151	9.00	2025/06/01	16.10

オーストラリア	特殊債券	WATC 7% 10/15/19	67,000,000	11,022.78	7,385,266,888	10,639.49	7,128,458,380	7.00	2019/10/15	9.78
ノルウェー	国債証券	NGB 4.5% 05/22/19	372,000,000	1,892.89	7,041,554,461	1,857.21	6,908,824,548	4.50	2019/05/22	9.48
カナダ	国債証券	CAN 8.0% 06/01/23	37,000,000	15,006.67	5,552,470,325	14,044.20	5,196,354,334	8.00	2023/06/01	7.13
オーストラリア	特殊債券	WATC 7% 04/15/15	48,000,000	9,948.48	4,775,271,168	9,774.53	4,691,776,089	7.00	2015/04/15	6.44
カナダ	国債証券	CAN 8.0% 06/01/27	22,000,000	16,433.75	3,615,425,298	15,243.20	3,353,504,977	8.00	2027/06/01	4.60
オーストラリア	特殊債券	NSWTC 8% 04/03/18	30,000,000	10,867.33	3,260,200,704	10,860.31	3,258,095,832	8.00	2018/04/03	4.47
ノルウェー	国債証券	NGB 3.75% 05/25/21	150,000,000	1,873.60	2,810,409,330	1,800.98	2,701,480,065	3.75	2021/05/25	3.71
カナダ	国債証券	CAN 5.75% 06/01/33	9,000,000	14,643.31	1,317,897,987	13,505.10	1,215,459,050	5.75	2033/06/01	1.67
オーストラリア	特殊債券	TCV 6% 06/15/20	7,000,000	10,475.92	733,314,624	10,191.27	713,388,958	6.00	2020/06/15	0.98

(注1) 国 / 地域は、発行体の所在地によって記載しております。

(注2) 投資比率は、マザーファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

b. 投資有価証券の種類別投資比率

種類	投資比率 (%)
国債証券	58.95
特殊債券	38.62
合計	97.56

(注) 投資比率は、マザーファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

c. 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。


投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考情報) 交付目論見書に記載するファンドの運用実績


運用実績

当初設定日：2004年12月3日
作成基準日：2013年6月28日

高金利ソアリンオープン

**基準価額・純資産の推移**

基準価額	7,243円
純資産総額	483億円

※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
※上記グラフは当初設定日から作成基準日までを表示しております。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額:5,120円 直近1年間分配金合計額:360円

決算期	2013年2月	2013年3月	2013年4月	2013年5月	2013年6月
分配金	30円	30円	30円	30円	30円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

銘柄名	国/地域	種類	利率	償還期限	実質投資比率
WATC 8% 07/15/17	オーストラリア	特殊債券	8.000%	2017/07/15	17.5%
NGB 5% 05/15/15	ノルウェー	国債証券	5.000%	2015/05/15	16.4%
CAN 9% 06/01/25	カナダ	国債証券	9.000%	2025/06/01	16.2%
WATC 7% 10/15/19	オーストラリア	特殊債券	7.000%	2019/10/15	9.9%
NGB 4.5% 05/22/19	ノルウェー	国債証券	4.500%	2019/05/22	9.5%
CAN 8.0% 06/01/23	カナダ	国債証券	8.000%	2023/06/01	7.2%
WATC 7% 04/15/15	オーストラリア	特殊債券	7.000%	2015/04/15	6.5%
CAN 8.0% 06/01/27	カナダ	国債証券	8.000%	2027/06/01	4.6%
NSWTC 8% 04/03/18	オーストラリア	特殊債券	8.000%	2018/04/03	4.5%
NGB 3.75% 05/25/21	ノルウェー	国債証券	3.750%	2021/05/25	3.7%

年間収益率の推移(暦年ベース)

※収益率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
※2004年は当初設定日から年々までの収益率です。また、2013年は年初から作成基準日までの収益率です。
※ファンドには、ベンチマークはありません。

記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

最新の運用の内容等は、表紙に記載されている委託会社のホームページでご確認いただけます。

第3【ファンドの経理状況】

原届出書の「第二部 ファンド情報」「第3 ファンドの経理状況」につきましては、以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則(昭和38年大蔵省令第59号)」並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は6ヶ月毎に作成しております。

(3)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第17特定期間(平成24年11月20日から平成25年5月17日まで)の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

[次へ](#)

1 財務諸表

高金利ソブリンオープン

(1) 貸借対照表

項目	第16特定期間 (平成24年11月19日現在) 金額(円)	第17特定期間 (平成25年 5月17日現在) 金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	415	32,096,629
親投資信託受益証券	56,517,497,008	55,711,547,072
未収入金	446,253,736	374,804,461
未収利息	-	46
流動資産合計	56,963,751,159	56,118,448,208
資産合計	56,963,751,159	56,118,448,208
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	250,078,270	206,569,476
未払解約金	166,076,927	364,102,177
未払受託者報酬	2,696,522	2,416,918
未払委託者報酬	56,626,937	50,755,318
その他未払費用	155,110	140,667
流動負債合計	475,633,766	623,984,556
負債合計	475,633,766	623,984,556
純資産の部		
元本等		
元本	83,359,423,468	68,856,492,291
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	26,871,306,075	13,362,028,639
(分配準備積立金)	(18,963,714)	(46,715,605)
元本等合計	56,488,117,393	55,494,463,652
純資産合計	56,488,117,393	55,494,463,652
負債純資産合計	56,963,751,159	56,118,448,208

(2) 損益及び剰余金計算書

項目	第16特定期間 自 平成24年 5月18日 至 平成24年11月19日 金額(円)	第17特定期間 自 平成24年11月20日 至 平成25年 5月17日 金額(円)
営業収益		
受取利息	1,671	2,600
有価証券売買等損益	3,779,238,487	11,538,252,598

営業収益合計	3,779,240,158	11,538,255,198
営業費用		
受託者報酬	16,782,085	14,676,291
委託者報酬	352,423,665	308,202,067
その他費用	890,086	841,852
営業費用合計	370,095,836	323,720,210
営業利益又は営業損失()	3,409,144,322	11,214,534,988
経常利益又は経常損失()	3,409,144,322	11,214,534,988
当期純利益又は当期純損失()	3,409,144,322	11,214,534,988
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	33,230,586	157,041,567
期首剰余金又は期首欠損金()	36,326,212,943	26,871,306,075
剰余金増加額又は欠損金減少額	8,100,688,853	3,917,388,690
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	8,100,688,853	3,917,388,690
剰余金減少額又は欠損金増加額	246,634,150	119,842,013
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	246,634,150	119,842,013
分配金	1,841,522,743	1,345,762,662
期末剰余金又は期末欠損金()	26,871,306,075	13,362,028,639

[次へ](#)

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、基準価額で評価しております。
2. その他	ファンドの計算期間 第17特定期間(自 平成24年11月20日 至 平成25年 5月17日) 第17特定期間は前特定期間末日が休業日のため、平成24年11月20日から平成25年 5月17日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

	第16特定期間 (平成24年11月19日現在)	第17特定期間 (平成25年 5月17日現在)
1. 期首元本額	106,334,976,347円	83,359,423,468円
期中追加設定元本額	717,059,830円	497,898,442円
期中一部解約元本額	23,692,612,709円	15,000,829,619円
2. 当該特定期間の末日における受益権総数	83,359,423,468口	68,856,492,291口
3. 「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 26,871,306,075円	元本の欠損 13,362,028,639円
4. 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.6776円 (6,776円)	0.8059円 (8,059円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

分配金の計算過程

		第16特定期間 自 平成24年 5月18日 至 平成24年11月19日	第17特定期間 自 平成24年11月20日 至 平成25年 5月17日
		第90期 自 平成24年5月18日 至 平成24年6月18日	第96期 自 平成24年11月20日 至 平成24年12月17日
費用控除後の配当等収益額	A	253,421,419円 (322,634,330円)	219,387,568円 (223,922,794円)
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	- 円	- 円
収益調整金額	C	3,763,366,807円	2,606,226,013円
分配準備積立金額	D	618,058円	18,533,612円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	4,017,406,284円	2,844,147,193円
当ファンドの期末残存口数	F	104,663,616,908口	80,527,319,803口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	383.83円	353.19円
1万口当たり分配金額	H	45円	30円

収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	470,986,276円	241,581,959円
		第91期 自 平成24年6月19日 至 平成24年7月17日	第97期 自 平成24年12月18日 至 平成25年1月17日
費用控除後の配当等収益額	A	248,994,921円 (296,620,376円)	249,067,692円 (253,690,633円)
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	- 円	- 円
収益調整金額	C	3,477,114,803円	2,534,198,071円
分配準備積立金額	D	3,791,746円	4,913,896円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	3,729,901,470円	2,788,179,659円
当ファンドの期末残存口数	F	102,695,576,005口	78,543,025,921口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	363.19円	354.98円
1万口当たり分配金額	H	30円	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	308,086,728円	235,629,077円
		第92期 自 平成24年7月18日 至 平成24年8月17日	第98期 自 平成25年1月18日 至 平成25年2月18日
費用控除後の配当等収益額	A	274,112,684円 (293,223,686円)	263,116,753円 (271,259,528円)
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	- 円	- 円
収益調整金額	C	3,139,619,084円	2,454,241,364円
分配準備積立金額	D	9,343,207円	18,325,631円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	3,423,074,975円	2,735,683,748円
当ファンドの期末残存口数	F	94,393,068,730口	76,062,065,159口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	362.64円	359.66円
1万口当たり分配金額	H	30円	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	283,179,206円	228,186,195円
		第93期 自 平成24年8月18日 至 平成24年9月18日	第99期 自 平成25年2月19日 至 平成25年3月18日
費用控除後の配当等収益額	A	238,524,818円 (287,274,655円)	173,738,105円 (224,176,398円)
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	- 円	- 円
収益調整金額	C	2,985,240,410円	2,372,504,617円
分配準備積立金額	D	2,591,797円	53,789,153円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	3,226,357,025円	2,600,031,875円
当ファンドの期末残存口数	F	89,749,568,764口	73,524,992,103口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	359.48円	353.62円
1万口当たり分配金額	H	30円	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	269,248,706円	220,574,976円

		第94期 自 平成24年9月19日 至 平成24年10月17日	第100期 自 平成25年3月19日 至 平成25年4月17日
費用控除後の配当等収益額	A	212,682,481円 (247,534,460円)	233,769,673円 (238,525,051円)
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	- 円	- 円
収益調整金額	C	2,847,476,050円	2,293,602,169円
分配準備積立金額	D	9,659,420円	7,408,797円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,069,817,951円	2,534,780,639円
当ファンドの期末残存口数	F	86,647,852,484口	71,073,659,983口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	354.28円	356.64円
1万口当たり分配金額	H	30円	30円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	259,943,557円	213,220,979円
		第95期 自 平成24年10月18日 至 平成24年11月19日	第101期 自 平成25年4月18日 至 平成25年5月17日
費用控除後の配当等収益額	A	263,077,037円 (273,568,649円)	225,372,099円 (236,940,514円)
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	- 円	- 円
収益調整金額	C	2,697,830,688円	2,222,201,911円
分配準備積立金額	D	5,964,947円	27,912,982円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,966,872,672円	2,475,486,992円
当ファンドの期末残存口数	F	83,359,423,468口	68,856,492,291口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	355.91円	359.51円
1万口当たり分配金額	H	30円	30円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	250,078,270円	206,569,476円

(注)()内は、親投資信託の信託財産に属する配当等収益のうち、当ファンドに帰属すべき金額で、内書でありませぬ。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。これらは、市場リスク(為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、流動性リスク等に晒されております。

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>運用部門から独立したリスク管理部及びコンプライアンス統括部が、運用に関するリスク管理と法令等遵守状況のモニタリングを担当し、毎月開催される運用リスク管理委員会及びコンプライアンス会議に報告します。</p> <p>内部監査部は、業務執行に係る内部管理態勢の適切性・有効性を独立した立場から検証・評価し、監査結果等を取締役に報告するとともに、指摘事項の是正・改善状況の事後点検を行います。</p>
-------------------	---

2. 金融商品の時価等に関する事項

1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1)親投資信託受益証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. 金銭債権の特定期間末日後の償還予定額	金銭債権は全て1年以内に償還予定であります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第16特定期間 (平成24年11月19日現在)	第17特定期間 (平成25年 5月17日現在)
	計算期間(自 平成24年10月18日 至 平成24年11月19日)の損益に含まれた評価差額(円)	計算期間(自 平成25年4月18日 至 平成25年 5月17日)の損益に含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	1,542,087,230	1,089,746,138
合計	1,542,087,230	1,089,746,138

(デリバティブ取引に関する注記)

当ファンドは、デリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(4)附属明細表

有価証券明細表

A. 株式

該当事項はありません。

B. 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額(口)	評価額(円)	備考
親投資信託受益証券	高金利外債マザーファンド	34,485,637,309	55,711,547,072	
親投資信託受益証券 小計		34,485,637,309	55,711,547,072	
合計		34,485,637,309	55,711,547,072	

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

不動産等明細表

該当事項はありません。

商品明細表

該当事項はありません。

商品投資等取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

その他特定資産の明細表

該当事項はありません。

借入金明細表

該当事項はありません。

[次へ](#)

< 参考 >

「高金利ソブリンオープン」は、「高金利外債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上されている「親投資信託受益証券」は、全て同マザーファンドの受益証券であります。同マザーファンドの平成25年5月17日現在(以下、「計算日」といいます。)の状況は次のとおりであります。なお、以下は参考情報であり、監査意見の対象外であります。

「高金利外債マザーファンド」の状況

(1)貸借対照表

項目	平成25年 5月17日現在 金額(円)
資産の部	
流動資産	
預金	880,890,414
コール・ローン	628,504,393
国債証券	48,943,588,148
特殊債券	32,031,117,798
派生商品評価勘定	230,000
未収入金	867,015,341
未収利息	1,205,300,369
前払費用	218,988,976
流動資産合計	84,775,635,439
資産合計	84,775,635,439
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,407,650
前受収益	595,017
未払金	347,244,963
未払解約金	454,822,535
流動負債合計	804,070,165
負債合計	804,070,165
純資産の部	
元本等	
元本	51,977,343,094
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	31,994,222,180
元本等合計	83,971,565,274
純資産合計	83,971,565,274
負債純資産合計	84,775,635,439

(2)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	平成25年 5月17日現在
--	---------------

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券及び特殊債券 移動平均法(買付約定後、最初の利払日までは個別法)に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者等の提示する価額、価格情報会社の提供する価額又は業界団体が発表する売買参考統計値等で評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 個別法に基づき、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p> <p>当ファンドにおける派生商品評価勘定は、当該為替予約取引に係るものであります。</p>
3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>投資信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p> <p>なお、外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。</p>
4. 収益及び費用の計上基準	<p>為替予約取引による為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

	平成25年 5月17日現在
1. 特定期間の期首元本額	62,298,502,179円
特定期間中の追加設定元本額	99,905,823円
特定期間中の一部解約元本額	10,421,064,908円
計算日の元本額	51,977,343,094円
計算日の元本額の内訳	
高金利ソブリンオープン	34,485,637,309円
3資産バランスオープン	12,890,609,839円
3資産バランスオープンアルファ	1,418,308,451円
高金利ソブリンファンド(SMA専用)	15,205,480円
高格付高金利ソブリンファンド(適格機関投資家専用)	545,348,942円
高金利海外債券ファンド(適格機関投資家専用)	2,622,233,073円
2. 計算日における受益権総数	51,977,343,094口
3. 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.6155円 (16,155円)

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

	平成25年 5月17日現在
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 これらは、市場リスク（為替変動リスク、金利変動リスク）、信用リスク、流動性リスク等に晒されております。 また、当ファンドは、ファンド運用の効率化を図ることを目的として為替予約取引を行っております。当該デリバティブ取引に係る主要なリスクは、為替相場の変動による価格変動リスク及び取引相手の信用状況の変動により損失が発生する信用リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用部門から独立したリスク管理部及びコンプライアンス統括部が、運用に関するリスク管理と法令等遵守状況のモニタリングを担当し、毎月開催される運用リスク管理委員会及びコンプライアンス会議に報告します。 内部監査部は、業務執行に係る内部管理態勢の適切性・有効性を独立した立場から検証・評価し、監査結果等を取締役に報告するとともに、指摘事項の是正・改善状況の事後点検を行います。

2. 金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 5月17日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則として時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)国債証券及び特殊債券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引に関する注記)」に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

4. 金銭債権の計算日後の償還予定額	<p>また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は契約上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p> <p>金銭債権は全て1年以内に償還予定であります。</p>
--------------------	--

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	平成25年 5月17日現在	
	当期間の損益に含まれた評価差額(円)	
国債証券	680,823,315	
特殊債券	201,614,014	
合計	882,437,329	

(注)当期間の損益に含まれた評価差額は、「高金利外債マザーファンド」の期首から計算日までの期間(平成24年11月20日から平成25年5月17日まで)に対応するものです。

(デリバティブ取引に関する注記)

- ・ヘッジ会計が適用されていないもの
通貨関連

区分	種類	平成25年 5月17日現在			
		契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売 建				
	オーストラリアドル	100,700,000	-	100,470,000	230,000
	ノルウェークローネ	524,792,350	-	526,200,000	1,407,650
	計	625,492,350	-	626,670,000	1,177,650
	合計	625,492,350	-	626,670,000	1,177,650

(注)時価の算定方法

わが国における計算日又は計算日に知りうる直近の日の対顧客先物売買相場の仲値によって、以下のように評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値によって評価しております。

計算日又は計算日に知りうる直近の日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

- ・ヘッジ会計が適用されているもの

平成25年 5月17日現在
該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

平成25年 5月17日現在
該当事項はありません。

(3) 附属明細表(平成25年5月17日現在)

有価証券明細表

A. 株式

該当事項はありません。

B. 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考	
国債証券	カナダドル	CAN 5.75% 06/01/33	9,000,000.00	13,728,375.00		
		CAN 8.0% 06/01/23	40,000,000.00	62,432,800.00		
		CAN 8.0% 06/01/27	25,000,000.00	42,660,250.00		
		CAN 9% 06/01/25	77,000,000.00	134,493,975.00		
	カナダドル小計			151,000,000.00	253,315,400.00 (25,437,932,468)	
	ノルウェー クローネ	NGB 3.75% 05/25/21	150,000,000.00	171,431,250.00		
		NGB 4.5% 05/22/19	372,000,000.00	435,254,880.00		
		NGB 5% 05/15/15	681,000,000.00	732,667,470.00		
	ノルウェークローネ小計			1,203,000,000.00	1,339,353,600.00 (23,505,655,680)	
	国債証券合計				48,943,588,148 (48,943,588,148)	
特殊債券	オーストラリア ドル	NSWTC 8% 04/03/18	30,000,000.00	36,459,300.00		
		TCV 6% 06/15/20	3,000,000.00	3,466,080.00		
		WATC 7% 04/15/15	48,000,000.00	51,801,600.00		
		WATC 7% 10/15/19	70,000,000.00	84,163,100.00		
		WATC 8% 07/15/17	120,000,000.00	142,795,800.00		
	オーストラリアドル小計			271,000,000.00	318,685,880.00 (32,031,117,798)	
特殊債券合計				32,031,117,798 (32,031,117,798)		
合計				80,974,705,946 (80,974,705,946)		

(注) 有価証券明細表注記

(1) 通貨ごとの小計の欄における()内は、邦貨換算額であります。

(2) 合計金額欄の記載は、邦貨額であります。()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(3) 通貨の表示は、外貨についてはその通貨の単位、邦貨については円単位で表示しております。

(4) 外貨建有価証券の通貨別内訳

通貨	銘柄数	組入時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
カナダドル	国債証券 4銘柄	100.0%	31.4%
オーストラリアドル	特殊債券 5銘柄	100.0%	39.6%
ノルウェークローネ	国債証券 3銘柄	100.0%	29.0%

(注) 組入時価比率は、通貨ごとの有価証券の合計金額に対する比率であります。

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

注記事項(デリバティブ取引に関する注記)に記載したとおりであります。

不動産等明細表

該当事項はありません。

商品明細表

該当事項はありません。

商品投資等取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

その他特定資産の明細表

該当事項はありません。

借入金明細表

該当事項はありません。

[次へ](#)

2 ファンドの現況

純資産額計算書(平成25年6月28日現在)

資産総額	48,332,466,292 円
負債総額	79,003,406 円
純資産総額(-)	48,253,462,886 円
発行済口数	66,621,610,734 口
1口当たり純資産額(/)	0.7243 円
1万口当たり純資産額	7,243 円

(参考情報)

高金利外債マザーファンド

資産総額	72,954,795,892 円
負債総額	59,274,064 円
純資産総額(-)	72,895,521,828 円
発行済口数	49,928,643,755 口
1口当たり純資産額(/)	1.4600 円
1万口当たり純資産額	14,600 円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

原届出書の「第三部 委託会社等の情報」「第1 委託会社等の概況」「1 委託会社等の概況」につきましては、該当情報を以下の内容に訂正します。

（注）下線部____は訂正部分を示します。

<訂正前>

（1）資本金の額（平成24年12月28日現在）

（中略）

（2）委託会社の機構

会社の意思決定機構

（中略）

取締役会は、その決議をもって、取締役の中から、代表取締役若干名を選定します。また、代表取締役の中から社長1名を選定し、必要あるときは、取締役の中から、会長1名及び副社長、専務取締役、常務取締役若干名を選定することができます。

（中略）

投資運用の意思決定機構

（中略）

委託会社の機構は平成25年2月19日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

（1）資本金の額（平成25年6月28日現在）

（中略）

（2）委託会社の機構

会社の意思決定機構

（中略）

取締役会は、その決議をもって、取締役の中から、代表取締役若干名を選定します。また、代表取締役の中から社長1名を選定し、必要あるときは、取締役の中から、副社長、専務取締役、常務取締役若干名を選定することができます。

（中略）

投資運用の意思決定機構

（中略）

委託会社の機構は平成25年8月16日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

2 事業の内容及び営業の概況

原届出書の「第三部 委託会社等の情報」「第1 委託会社等の概況」「2 事業の内容及び営業の概況」につきましては、該当情報を以下の内容に訂正します。

（注）下線部____は訂正部分を示します。

<訂正前>

（前略）

平成24年12月28日現在、委託会社が運用の指図を行っている証券投資信託（マザーファンドを除きます。）は次の通りです。

	本数（本）	純資産総額（百万円）
追加型株式投資信託	<u>303</u>	<u>3,840,872</u>
追加型公社債投資信託	0	0
単位型株式投資信託	<u>5</u>	<u>710</u>
単位型公社債投資信託	0	0
合計	<u>308</u>	<u>3,841,582</u>

< 訂正後 >

（前略）

平成25年6月28日現在、委託会社が運用の指図を行っている証券投資信託（マザーファンドを除きます。）は次の通りです。

	本数（本）	純資産総額（百万円）
追加型株式投資信託	<u>317</u>	<u>4,352,908</u>
追加型公社債投資信託	0	0
単位型株式投資信託	<u>2</u>	<u>180</u>
単位型公社債投資信託	0	0
合計	<u>319</u>	<u>4,353,089</u>

[次へ](#)

3 委託会社等の経理状況

原届出書の「第三部 委託会社等の情報」「第1 委託会社等の概況」「3 委託会社等の経理状況」につきましては、以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>

(1) 委託者である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社（以下「委託者」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）第2条に基づき、同規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。

なお、財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

(2) 委託者は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（自平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

[次へ](#)

(1)貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日現在)	当事業年度 (平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,826,115	8,192,444
前払費用	30,184	81,751
未収委託者報酬	944,716	2,210,605
未収運用受託報酬	26,998	31,051
未収入金	75,514	676
一年以内返還予定保証金	187,128	-
繰延税金資産	69,857	61,743
その他	31,325	19,263
流動資産合計	6,191,840	10,597,535
固定資産		
有形固定資産		
建物	1 3,525	1 79,281
器具備品	1 14,970	1 103,209
建設仮勘定	62,454	-
有形固定資産合計	80,949	182,491
無形固定資産		
ソフトウェア	60,130	168,561
ソフトウェア仮勘定	12,151	-
その他無形固定資産	928	1,770
無形固定資産合計	73,209	170,332
投資その他の資産		
投資有価証券	43,194	47,112
長期前払費用	357	-
長期貸付金	-	31,838
会員権	-	25,000
その他の投資	165	633
貸倒引当金	-	31,838
投資その他の資産合計	43,717	72,746
固定資産合計	197,876	425,570
資産合計	6,389,717	11,023,105

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日現在)	当事業年度 (平成25年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		

預り金	22,794	19,992
未払金	644,600	1,459,757
未払収益分配金	30	-
未払手数料	438,778	942,503
その他未払金	205,791	517,254
未払費用	112,121	82,209
未払法人税等	20,166	204,363
未払消費税等	5,683	11,940
賞与引当金	71,044	92,832
移転関連費用引当金	41,450	-
その他流動負債	-	21,231
流動負債合計	917,862	1,892,326
固定負債		
資産除去債務	-	12,281
退職給付引当金	199,976	268,531
繰延税金負債	308,964	303,555
固定負債合計	508,940	584,368
負債合計	1,426,803	2,476,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	-	350,000
資本剰余金合計	-	350,000
利益剰余金		
利益準備金	56,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,100,000	2,100,000
繰越利益剰余金	2,516,273	5,731,912
利益剰余金合計	4,672,773	7,891,412
株主資本合計	4,972,773	8,541,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,859	4,998
評価・換算差額等合計	9,859	4,998
純資産合計	4,962,913	8,546,410
負債・純資産合計	6,389,717	11,023,105

(2)損益計算書

(単位：千円)

前事業年度	当事業年度
(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

営業収益			
委託者報酬	7,821,113	19,128,296	
運用受託報酬	98,179	94,659	
営業収益合計	7,919,292	19,222,955	
営業費用			
支払手数料	3,715,816	9,030,246	
広告宣伝費	61,165	73,287	
公告費	2,451	2,244	
調査費	1,023,870	4,132,154	
調査費	86,225	207,030	
委託調査費	936,024	3,922,394	
図書費	1,620	2,729	
営業雑経費	610,455	1,294,879	
通信費	10,764	21,905	
印刷費	121,287	330,735	
協会費	10,136	21,939	
諸会費	803	757	
情報機器関連費	436,328	874,151	
その他営業雑経費	31,135	45,391	
営業費用合計	5,413,759	14,532,812	
一般管理費			
給料	1,276,685	2,259,238	
役員報酬	35,160	78,205	
給料・手当	1,048,061	1,967,177	
賞与	193,464	213,855	
退職給付費用	66,790	64,787	
福利費	152,149	190,716	
交際費	1,012	879	
旅費交通費	25,687	45,160	
租税公課	16,148	25,420	
不動産賃借料	238,033	129,096	
寄付金	2,832	-	
減価償却費	55,540	129,966	
敷金償却	2,804	-	
諸経費	81,858	1	257,947
一般管理費合計	1,919,541	3,103,213	
営業利益	585,991	1,586,929	

(単位：千円)

前事業年度

(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

当事業年度

(自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日)

営業外収益		
受取配当金	2,795	1,919
受取利息	13,889	6,475
投資有価証券売却益	149	924
貸倒引当金戻入	-	3,000
その他	2,125	2,552
営業外収益合計	18,961	14,873
営業外費用		
支払手数料	800	-
投資有価証券売却損	12	14,182
その他	74	361
営業外費用合計	887	14,544
経常利益	604,065	1,587,257
特別利益		
投資有価証券売却益	1,277,804	30,000
特別利益合計	1,277,804	30,000
特別損失		
統合関連損失	123,726	484,725
特別損失合計	123,726	484,725
税引前当期純利益	1,758,142	1,132,532
法人税、住民税及び事業税	241,760	369,828
法人税等調整額	368,903	56,358
法人税等合計	610,664	426,187
当期純利益	1,147,477	706,344

(3)株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	300,000	300,000
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	300,000	300,000
資本剰余金		
その他資本剰余金		
当期首残高	-	-
当期変動額		
自己株式の消却	3,019,410	-
その他利益剰余金より振替	3,019,410	-
合併による増加	-	350,000
当期変動額合計	-	350,000
当期末残高	-	350,000

利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	53,500	56,500
当期変動額		
剰余金の配当に伴う積立	3,000	3,000
当期変動額合計	3,000	3,000
当期末残高	56,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	5,100,000	2,100,000
当期変動額		
繰越利益剰余金へ振替	3,000,000	-
当期変動額合計	3,000,000	-
当期末残高	2,100,000	2,100,000
繰越利益剰余金		
当期首残高	1,421,205	2,516,273
当期変動額		
剰余金の配当	33,000	33,000
当期純利益	1,147,477	706,344
別途積立金より振替	3,000,000	-
その他資本剰余金へ振替	3,019,410	-
合併による増加	-	2,542,294
当期変動額合計	1,095,067	3,215,638
当期末残高	2,516,273	5,731,912
利益剰余金合計		
当期首残高	6,574,705	4,672,773
当期変動額		
剰余金の配当	30,000	30,000
当期純利益	1,147,477	706,344
その他資本剰余金へ振替	3,019,410	-
合併による増加	-	2,542,294
当期変動額合計	1,901,932	3,218,638
当期末残高	4,672,773	7,891,412

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
自己株式		
当期首残高	-	-
当期変動額		
自己株式の取得	3,019,410	-
自己株式の消却	3,019,410	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	-	-
株主資本合計		
当期首残高	6,874,705	4,972,773
当期変動額		

剰余金の配当	30,000	30,000
当期純利益	1,147,477	706,344
その他資本剰余金へ振替	3,019,410	-
合併による増加	-	2,892,294
当期変動額合計	1,901,932	3,568,638
当期末残高	4,972,773	8,541,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	8,501	9,859
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,357	14,857
当期変動額合計	1,357	14,857
当期末残高	9,859	4,998
評価・換算差額等合計		
当期首残高	8,501	9,859
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,357	14,857
当期変動額合計	1,357	14,857
当期末残高	9,859	4,998
純資産合計		
当期首残高	6,866,203	4,962,913
当期変動額		
剰余金の配当	30,000	30,000
当期純利益	1,147,477	706,344
その他資本剰余金へ振替	3,019,410	-
合併による増加	-	2,892,294
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,357	14,857
当期変動額合計	1,903,289	3,583,496
当期末残高	4,962,913	8,546,410

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算末日の市場価格等に基づく時価法によっております。（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定しております。）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産

定率法によっております。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ11,534千円増加しております。

(2)無形固定資産

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、原則として社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき当事業年度の負担額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職に伴う退職金の支給に備えるため、当期末における簡便法による退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

注記事項

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (平成24年3月31日)		当事業年度 (平成25年3月31日)	
建 物	84,592	千円	23,594	千円
器具備品	127,549	"	235,212	"
計	212,142	"	258,807	"

(損益計算書関係)

1 関係会社に対するものは次のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
諸経費		千円	97,199	千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	6,000	-	3,000	3,000

(注) 普通株式の減少は、平成24年3月13日付取締役会決議に基づく自己株式の消却による減少であります。

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	-	3,000	3,000	-

(注) (1) 普通株式の増加は、平成24年2月21日付株主総会決議に基づく自己株式の取得による増加であります。

(2) 普通株式の減少は、平成24年3月13日付取締役会決議に基づく自己株式の消却による減少であります。

3. 剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の 総額（千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	30,000	5,000	平成23年3月31日	平成23年6月29日

4. 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の 総額（千円）	配当金の 原資	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成24年6月29日 定時株主総会	普通株式	30,000	利益剰余金	10,000	平成24年3月31日	平成24年6月29日

当事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	3,000	-	-	3,000

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

3. 剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の 総額（千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成24年6月29日 定時株主総会	普通株式	30,000	10,000	平成24年3月31日	平成24年6月29日

4. 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成25年6月28日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の通り提案しております。

決議	株式の種類	配当金の 総額（千円）	配当金の 原資	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成25年6月28日 定時株主総会	普通株式	30,000	利益剰余金	10,000	平成25年3月31日	平成25年6月28日

(リ - ス取引関係)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金を中心とする安全性の高い金融資産で運用し、必要な資金については内部留保を充てております。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

未収委託者報酬については、ファンドという相手方の性質上、信用リスク及び流動性リスクはきわめて低いものと考えております。また、投資有価証券は投資信託であり、投資信託については四半期ごとに時価を把握し、保有状況を継続的に見直しております。

未払金については、全て1年以内の支払期日であります。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行に係るリスク）の管理

売上債権の管理については、社内規程を定め、随時確認を行うなどの管理を行っております。なお、未収委託者報酬については、ファンドという相手方の性質上、信用リスクはきわめて低いものと考えております。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

有価証券投資については、社内ガイドラインにて投資限度額や運用ルール（処分基準）を定めており、投資後も適宜時価を把握し、保有状況を継続的に見直しております。

資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払を実行できなくなるリスク）の管理

当社は、年度事業計画を策定し、これに基づいて必要となる資金を検討し、充足する十分な手元流動性を維持することで、流動性リスクを管理しております。

2. 金融商品の時価に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（注2）を参照ください。

前事業年度（平成24年3月31日）（単位：千円）

	貸借対照表計上額(*)	時価(*)	差額
(1)現金及び預金	4,826,115	4,826,115	-
(2)未収委託者報酬	944,716	944,716	-
(3)投資有価証券 その他有価証券	43,194	43,194	-
(4)未払金	(644,600)	(644,600)	-

(*)負債に計上されているものについては、()で示しております。

当事業年度（平成25年3月31日）（単位：千円）

	貸借対照表計上額(*)	時価(*)	差額
(1)現金及び預金	8,192,444	8,192,444	-
(2)未収委託者報酬	2,210,605	2,210,605	-
(3)投資有価証券 その他有価証券	47,112	47,112	-
(4)未払金	(1,459,757)	(1,459,757)	-

(*)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1)現金及び預金、及び(2)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3)投資有価証券

これらの時価について、投資信託は取引金融機関から提示された価格によっております。

(4)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 金銭債権の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成24年3月31日）（単位：千円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	4,826,115	-	-	-
未収委託者報酬	944,716	-	-	-

当事業年度（平成25年3月31日）（単位：千円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超

現金及び預金	8,192,444	-	-	-
未収委託者報酬	2,210,605	-	-	-

（有価証券関係）

1．その他有価証券

前事業年度（平成24年3月31日現在）

（単位：千円）

区分	取得原価	貸借対照表 計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
その他	7,002	7,440	437
小計	7,002	7,440	437
貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの			
その他	51,511	35,754	15,756
小計	51,511	35,754	15,756
合計	58,513	43,194	15,318

当事業年度（平成25年3月31日現在）

（単位：千円）

区分	取得原価	貸借対照表 計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
その他	37,315	45,159	7,843
小計	37,315	45,159	7,843
貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの			
その他	2,030	1,952	77
小計	2,030	1,952	77
合計	39,345	47,112	7,766

2．事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）（単位：千円）

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
1,483,441	1,277,954	12

当事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）（単位：千円）

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
114,040	30,924	14,182

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を、また、確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を採用しております。

2. 退職給付債務に関する事項

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年3月31日）	当事業年度 （平成25年3月31日）
(1) 退職給付債務	199,976	268,531
(2) 退職給付引当金	199,976	268,531

(注) 1. 当社は、退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しております。

(注) 2. 当社の退職給付債務は退職一時金のみです。

3. 退職給付費用に関する事項

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年3月31日）	当事業年度 （平成25年3月31日）
(1) 退職給付費用	66,790	64,787

(注) 1. 当社は、退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しております。

(注) 2. 金額には確定拠出年金への掛金支払額を含んでおり、前事業年度で12,680千円、当事業年度で13,971千円であります。

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

当社は簡便法を採用しておりますので、基礎率等については、記載しておりません。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 （平成24年3月31日）	当事業年度 （平成25年3月31日）
繰延税金資産		
未払事業税	4,898 千円	16,142 千円
貸倒引当金繰入限度超過額	- "	11,347 "
賞与引当金損金算入限度超過額	27,004 "	35,285 "
退職給付引当金損金算入限度超過額	71,271 "	95,704 "
その他有価証券評価差額金	5,459 "	- "
移転関連費用引当金損金算入限度超過額	15,755 "	- "
減価償却超過額	12,745 "	1,067 "
敷金償却超過額	19,348 "	- "
その他	3,334 "	11,680 "
繰延税金資産 小計	159,817 "	171,228 "
評価性引当額	- "	11,347 "
繰延税金資産 合計	159,817 "	159,881 "
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	- "	2,767 "
投資有価証券売却益益金不算入額	398,925 "	398,925 "
繰延税金負債 合計	398,925 "	401,693 "
繰延税金資産(負債)の純額	239,107 "	241,812 "

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 （平成24年3月31日）	当事業年度 （平成25年3月31日）
法定実効税率	40.69 %	- %
（調整）		
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	4.14 "	- "
税率変更による期末繰延税金負債の減額修正	2.30 "	- "
その他	0.49 "	- "
税効果会計適用後の法人税等の負担率	34.73 "	- "

当事業年度は法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため、注記を省略しております。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

当社は資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

（関連情報）

1．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

顧客の名称	営業収益
PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）	2,429,898千円

（注）当社は約款に基づき投資信託財産から委託者報酬を得ているため、当該投資信託を顧客として上表は記載しております。

（報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報）

該当事項はありません。

（関連当事者情報）

1．関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者の取引

（ア）財務諸表提出会社の親会社

前事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金（百万円）	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
----	------------	-----	---------------	-----------	------------	-----------	-------	----------	----	----------

親会社	三井住友トラスト・ホールディングス(株)	東京都千代田区	261,608	持株会社	(直接)100%	役員の兼任	投資有価証券の譲渡	67,316	-	-
-----	----------------------	---------	---------	------	----------	-------	-----------	--------	---	---

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

投資有価証券の譲渡

投資有価証券の譲渡価格については、第三者による鑑定評価額により決定しております。

当事業年度(自平成24年4月1日至平成25年3月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	三井住友トラスト・ホールディングス(株)	東京都千代田区	261,608	持株会社	(直接)100%	役員の兼任	経営指導料の支払	97,199	-	-

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

経営指導料

取引条件については、一般取引条件を勘案して決定しております。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

該当事項はありません。

(ウ) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
兄弟会社	住友信託銀行(株)	大阪市中央区	342,037	信託業務及び銀行業務	-	営業上の取引役員の兼任	投信販売代行手数料等の支払	2,721,441	未払手数料	286,815
							投資助言費用の支払	820,269	未払費用	104,322
兄弟会社	すみしん不動産(株)	東京都中央区	300	不動産仲介業務	-	-	投資有価証券の譲渡	185,484	-	-
							自己株式の取得	1,509,705	-	-
兄弟会社	住信カード(株)	東京都中央区	50	クレジットカード業務	-	-	投資有価証券の譲渡	494,720	-	-
							自己株式の取得	1,207,764	-	-
兄弟会社	住信情報サービス(株)	大阪府豊中市	100	コンピュータ関連業務	-	-	投資有価証券の譲渡	729,782	-	-
							自己株式の取得	301,941	-	-

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

投信販売代行手数料

ファンド毎の手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定されております。

投資助言費用

各助言案件について、それぞれ合理的な水準にて助言料率を決定しております。

投資有価証券の譲渡及び自己株式の取得

投資有価証券及び自己株式の譲渡価格及び取得価格については、第三者による鑑定評価額により決定しております。

当事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
兄弟会社	三井住友信託銀行(株)	東京都千代田区	342,037	信託業務及び銀行業務	-	営業上の取引役員の兼任	投信販売代行手数料等の支払	6,006,973	未払手数料	613,819
							投資助言費用の支払	2,226,006	その他未払金	221,229

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

投信販売代行手数料

ファンド毎の手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定されております。

投資助言費用

各助言案件について、それぞれ合理的な水準にて助言料率を決定しております。

3. 平成24年4月1日付で以下の兄弟会社は合併し、商号及び所在地の変更を行っております。

旧商号	新商号	所在地
住友信託銀行(株)	三井住友信託銀行(株)	東京都千代田区
すみしん不動産(株)	三井住友トラスト不動産(株)	東京都中央区
住信カード(株)	三井住友トラスト・カード(株)	東京都港区
住信情報サービス(株)	三井住友トラスト・システム&サービス(株)	東京都府中市

(エ) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等

該当事項はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

前事業年度（平成24年3月31日）

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

当事業年度（平成25年3月31日）

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

(企業結合等関係)

前事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

当社は、平成24年1月24日開催の取締役会における決議に基づき、中央三井アセットマネジメント株式会社と平成24年4月1日を効力発生日として合併する旨の「合併契約書」を平成24年1月31日付で締結いたしました。上記契約に基づき、当社及び中央三井アセットマネジメント株式会社は、平成24年4月1日付で合併いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

結合企業

名称 当社

事業の内容 投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業

被結合企業

名称 中央三井アセットマネジメント株式会社

事業の内容 投資運用業、第二種金融商品取引業

(2)企業結合日

平成24年4月1日

(3)企業結合の法的形式

当社を吸収合併継続会社、中央三井アセットマネジメント株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併による新株の発行、金銭の交付および資本金の増加はありません。

(4)結合後企業の名称

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

(5)その他取引の概要に関する事項

旧住友信託銀行グループと旧中央三井トラスト・グループは、平成23年4月1日に経営統合を行い、三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（平成23年4月1日付で中央三井トラスト・ホールディングス株式会社が商号変更しております。）が誕生しました。今般、三井住友トラスト・ホールディングス株式会社のグループ会社として、経営統合の目的に鑑み、統合効果を最大化する一環として、当社及び中央三井アセットマネジメント株式会社が合併し「三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社」として発足しました。

2.実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	1,654,304円66銭	2,848,803円51銭
1株当たり当期純利益	197,729円22銭	235,448円31銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
当期純利益	1,147,477千円	706,344千円
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る当期純利益	1,147,477千円	706,344千円
期中平均株式数	5,803株	3,000株

[次へ](#)

5 その他

原届出書の「第三部 委託会社等の情報」「第1 委託会社等の概況」「5 その他」につきましては、該当情報を以下の内容に訂正します。

（注）下線部___は訂正部分を示します。

<訂正前>

（1）定款の変更

委託会社は、平成24年4月1日に中央三井アセットマネジメント株式会社と合併し、商号を三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社に変更しました。

（2）訴訟事件その他の重要事項

平成25年2月19日現在、訴訟事件その他委託会社及びファンドに重要な影響を及ぼした事実及び重要な影響を及ぼすことが予想される事実は生じておりません。

<訂正後>

（1）定款の変更

委託会社は、平成25年4月1日に取締役の役位としての会長を削除しました。

（2）訴訟事件その他の重要事項

平成25年8月16日現在、訴訟事件その他委託会社及びファンドに重要な影響を及ぼした事実及び重要な影響を及ぼすことが予想される事実は生じておりません。

第2【その他の関係法人の概況】

原届出書の「第三部 委託会社等の情報」「第2 その他の関係法人の概況」につきましては、該当情報を以下の内容に訂正します。

（注）下線部____は訂正部分を示します。

<訂正前>

1 名称、資本金の額及び事業の内容

(1) 受託会社

名称 : 三井住友信託銀行株式会社

資本金の額 : 342,037百万円（平成24年9月末日現在）

事業の内容 : 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額（百万円） （平成24年9月末日現在）	事業の内容
（中略）		

株式会社あおぞら銀行	419,781	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
------------	---------	--------------------

（中略）

フィデリティ証券株式会社	5,207	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
--------------	-------	-------------------------------

（中略）

3 資本関係

（中略）

(参考) 再信託受託会社

名称 : 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

設立年月日 : 平成12年6月20日

資本金の額 : 51,000百万円（平成24年9月末日現在）

事業の内容 : 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的 : 原信託契約に係る信託業務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社（日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産の全てを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

<訂正後>

1 名称、資本金の額及び事業の内容

(1) 受託会社

名称 : 三井住友信託銀行株式会社

資本金の額 : 342,037百万円（平成25年3月末日現在）

事業の内容 : 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額（百万円） （平成25年3月末日現在）	事業の内容
（中略）		

（中略）

株式会社あおぞら銀行	100,000	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
------------	---------	--------------------

(中略)

フィデリティ証券株式会社	5,957	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
--------------	-------	-------------------------------

(中略)

3 資本関係

(中略)

(参考)再信託受託会社

名称 : 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

設立年月日 : 平成12年6月20日

資本金の額 : 51,000百万円(平成25年3月末日現在)

事業の内容 : 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的 : 原信託契約に係る信託業務の一部(信託財産の管理)を原信託受託会社から再信託受託会社(日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)へ委託するため、原信託財産の全てを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

独立監査人の監査報告書

平成25年7月17日

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 松崎 雅 則

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている高金利ソブリンオープンの平成24年11月20日から平成25年5月17日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、高金利ソブリンオープンの平成25年5月17日現在の信託財産の状態及び同日をもつ

て終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- 1．上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
 - 2．財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年6月7日

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高波博之 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	白川芳樹 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤浩之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第27期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。